

平成 29 年度事業報告

I. 調査研究事業部門

平成 29 年度事業計画に基づき、嗜好品と人間・社会に関する社会科学分野の調査研究や「嗜好品文化研究会」との嗜好品に関する横断的なテーマについての共同研究、およびたばこ史・たばこ産業史上有意義な文献資料等の収集、取り纏めに取り組んだ。また、学術の振興を目的に、嗜好品の人文・社会科学等の分野に関する研究助成事業や研究誌、機関誌等を活用した普及啓発事業を実施した。

1. 調査研究事業

当年度に実施した調査研究活動は次のとおりである。

(1) 嗜好品と人間・社会に関する調査研究

これまでの心理学研究および社会学研究の成果を踏まえ、嗜好品に関する心理学および社会学各分野の調査・研究を実施した。心理学研究、社会学研究それぞれにおいて外部の研究者を交えた研究会を開催し、質問紙調査研究、量的調査を実施した。また、これまでの研究成果については、継続して学会発表や論文投稿を行った。心理学研究においては、外部の研究協力者と二つの共同研究を実施した。

(2) 嗜好品文化研究

「嗜好品文化研究会」と共同で、研究会、フォーラムを開催し、「嗜好品とデザイン」をテーマに研究を行うとともに、大学院生に対する研究助成を行った。また、1年間の研究成果を取り纏めた年刊「嗜好品文化研究」第3号を発刊した。

(3) たばこ史・たばこ産業史研究

研究助成等を通じて関係を構築した大学等研究機関の研究者や在野の研究者と連携を図り、たばこ史・たばこ産業史上有意義な文献資料等の情報を収集し、取り纏めを行った。

(4) 研究関連情報の整備

調査・研究事業への効果的な活用を図るため、TASC 所蔵の書籍や研究報告書等諸情報の継続的な資料整備を行った。

2. 研究助成事業

平成 29 年度採択の研究に対する助成及び平成 28 年度助成研究の報告会を実施した。平成 28 年度研究助成の成果は助成研究報告書を作成し、国会図書館に納本するとともに、要約版と報告書全編を TASC ウェブサイトに掲載した。また、平成 30 年度分の応募研究について、審査・採択を実施した。

3. 普及啓発事業

当年度に実施した普及啓発活動は次のとおりである。

(1) TASC 定期出版物の発行

- ① 研究誌「談」109号～111号を発行した。
- ② 機関誌「TASC MONTHLY」496号(4月号)～507号(3月号)を発行した。
500号(8月号)については、500号記念特別企画として、通常の編集記事に加え、特別寄稿、対談、インタビュー記事を掲載した。
- ③ 研究誌「たばこ史研究」140号～143号を発行した。
- ④ 「平成28年度事業概要」を発行した。

(2) TASC ウェブサイトによる情報発信

機関誌「TASC MONTHLY」に掲載している特別シリーズ「豊かな生き方、豊かな社会を考える」、「情報テクノロジーの進展がもたらす近未来社会の姿を考える」、それぞれの有識者の諸論考を TASC ウェブサイトに順次掲載し、発信情報の充実を図った。

4. 受託調査研究事業

たばこ関連資料の保管・管理

II. 博物館事業部門

今年度の入館者数は 77,263 人となり（対前年度 120%）、リニューアルオープン後 3 年間で約 20 万人のお客様を迎えることができた。「夏休み塩の学習室」をはじめ 5 回の特別展を開催し、いずれも大変好評を博するとともに、閲覧室やミュージアムショップなどの施設の利用率も大幅に向上した。

開館 3 年目を迎え、多様な来館者の満足度向上および博物館機能の充実・強化を最優先として、下記のとおり取り組んだ。

1. 博物館業務および運営体制の見直し・改善・安定化

これまで蓄積した各種知見を踏まえ、業務・運営面での課題等への対応を適時に行い、質の高い入館者サービスの維持に努めた。

2. 館の活性化

- ① 常設展示室の音声ガイド(日本語・英語)の導入および来年度の中国語・韓国語版導入に向けた準備を行った。
- ② 開館 40 周年記念行事の平成 30（2018）年実施に向け、検討・準備・調査を行った。

3. 博物館収蔵庫における史・資料保管体制の確立

収蔵資料の整理を順次進めるとともに、収蔵庫をはじめ館内の定期的な環境モニタリングおよび I P M（総合的有害生物管理）の本格的運用に向けた準備を行うなど、資料の保管体制の確立を進めた。

4. 調査研究活動

平成 29（2017）年度以降の展示企画に向けたテーマおよび下記の領域・分野を中心に、「たばこと塩の歴史と文化」および収蔵資料に関する調査研究を着実に推進した。

- ・たばこ文化の発生と伝播、江戸時代の文化とたばこ、近現代のたばこ文化・産業史、塩の文化・サイエンス、産業・企業系博物館論についての調査研究

5. 積極的な対外広報活動

(1) 情報発信活動

① 特別展の開催等

「夏休み塩の学習室」を含め年間 5 回の特別展および展示関連講演会・イベント等を開催し、質の高い情報発信に努めた。

② イベント・講座

たばしお講座（8 回）、たばしお寄席（3 回）および古文書・古文書を読む会（10

回) などを実施した。

③ 刊行物

- ・展示ブックレット「着物と装身具に見る江戸のいい女・いい男」
- ・展示図録「和田誠と日本のイラストレーション」

④ 常設展示・視聴覚ホール・図書閲覧室

- ・館外正面サインの見直しなど来館者エリアの整備・保全を実施した。
- ・常設展示の展示替を江戸時代のたばこ文化コーナーは 7 回、コレクションギャラリーは 3 回実施した。
- ・視聴覚ホールでの文化映画上映を 2 回実施した。
- ・特別展「和モダンの世界 近代の輸出工芸 ～金子皓彦コレクションを中心に～」において、ギャラリートークを 4 回開催した。
- ・図書閲覧室は、特別展に合わせ開架図書を変える等来館者サービスの向上に努めた。

(2) 収蔵資料等のデータベース化と活用

収蔵資料等のデータベース化を進め、来館者のサービスの向上を図った。

(3) 周知広報・PR

① 所在地周知PR・アクセス案内

- ・HP、メトロ最寄り駅駅貼りポスター、メトロ総合出口案内板、電柱広告、シネアド等を通じ案内を行った。
- ・都内バス停 89 箇所に所在地や開館 40 周年を案内するポスターを掲出した。

② 特別展・イベント等の周知

HP、リリース配信、新聞およびインターネット、交通広告等多様なメディアを通じた事前周知とともに、ダイレクトメールの発送先を充実させた。

③ その他

- ・設置企業の日本たばこ産業株式会社と連携のうえ Web の更新、英語ページのリニューアルおよびスマートフォン版サイトの新設を行った。
- ・「すみだ企業博物館連携協議会」と連携し、5 館めぐりのガイド小冊子（英語版）を作成した。
- ・YouTuber とのコラボ動画を通じたPRを行った。
- ・東京の美術館・博物館等 92 施設の共通入館券「ぐるっとパス 2017」に加入した。

6. 資料収集・整理・保存

156 件の資料を収集・登録、3 点の資料購入、ポスターの実物資料収集等を実施した。

7. その他の活動

職員研修、博物館実習受入（4 名）等を実施した。